

台湾 国立政治大学及び国立台湾大学と大学間学術交流協定を締結

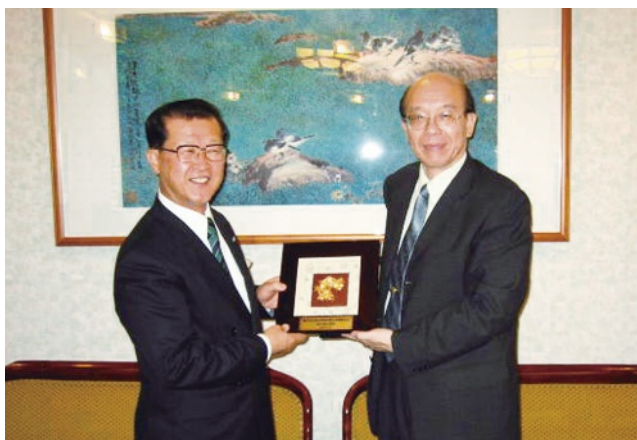
平野総長は、4月24日(火)、台湾 国立政治大学を訪問し、本学と同大学との協力関係をこれまでの部局間協定による法学分野のみならず、より複合的、多元的かつ学際的な分野に一層進展させることを目的に、大学間学術交流協定を締結しました。調印式の後、総長は、呉思華学長をはじめとする同大学の教員と、両校の現状や今後の学生の交流、

学術交流などについて懇談をしました。

引き続き、総長は、台湾 国立台湾大学も訪問し、国立政治大学と同様に大学間学術交流協定を締結しました。調印式の後、李嗣澔学長をはじめとする同大学の教員と懇談をしました。



協定書を手に握手する平野総長（左）と呉国立政治大学学長（右）



李国立台湾大学学長（右）より両校の学術交流協定を記念する盾を受け取る平野総長（左）

安否情報登録訓練を実施

安否情報登録訓練が、4月10日(火)から16日(月)までの1週間、学生、教職員など本学の全構成員を対象に行われました。本学では、災害後にいち早く全構成員の安否確認を行うことを目指し、災害対策室、情報連携統括本部、全学技術センターが協力して、昨年度から「名古屋大学ポータル」を利用した安否確認システムの構築を進めています。

今回の訓練は、学生や教職員にシステムへの登録手順に慣れ親しんでもらうことを主な目的に実施したもので、1週間の登録期間中に2,342名から安否情報の登録がありました。同システムの特徴は、携帯電話から登録できることと、学内で日頃使われている「全学ID」を使用し、個人認証ができることで、今回は、学部学生は登録者の3分の1が携帯電話を使って入力しており、95%を超える人が全学IDを使って登録をしていました。また、訓練に併せて実施したアンケートでは、754名から数多くの建設的な意見があり、これらを参考にしながらシステム改修に着手しています。

いつ発生するかわからない大災害に備えるため、安定して使いやすいシステムの構築を図るとともに、今後も年に2回程度、安否情報登録訓練を繰り返し行うことで、全構成員への定着を図る予定です。

対象は全員です。

地震発生!

まずは身近な人の救助・救命。
そのあと、先輩にも無事を知らせてください。

2007年9月25日 地震発生時刻

安否情報登録訓練

4月10日(火)から16日(月)まで
名大ポータル(<https://my.nyu.jp/k/>)へアクセス

災害後の最優先活動の仲間には、学生、教職員など全構成員の安全確認が欠かせません。その一つの手続きとして「名古屋大学ポータル」に接続した安否確認システムを実施しています。名古屋大学の全構成員は上記の期間内に名古屋大学ポータルへアクセスして自分の安否情報を入力してください。

災害対策室
<http://anshin.seis.nagoya-u.ac.jp/taisaku/>
名古屋大学災害対策室 内線6038